



令和3(2021)年度学術変革領域研究(A)

2.5次元物質科学：
社会変革に向けた物質科学のパラダイムシフト

2.5D Materials

第2回 若手交流会レポート

第2回

北海道大学

理学部5号館低層棟 205/206教室 (北海道 札幌市)

2023年9月25日、若手の交流を通じた領域の活性化を目指して、北海道大学にて第2回若手交流会が開催されました。今回は全国から、前回は上回る46名の若手研究者・学生が参加しました。そこで今回は、領域の広報担当であり、幹事のお一人でもある荒井先生(A02)にお話をうかがいました。

今回はどのような交流会になりましたか？

初参加の方も多くいましたが、全体を通してとても和やかな雰囲気だったので、これまで関わったことのない分野の人同士が話し合う良い機会になったと思います。参加者の多くは学生さんで、皆さん初対面でしたが、研究の話が弾んでいるようでした。分野が違うと使う言葉も変わります。そういったことに対しても理解をしながら話ができるという意味で、本領域の「若手の層の厚さ」を感じました。

また、博士課程の学生は特に孤立しやすいので、異なる研究室の人と研究のみならず、進路の相談もできる機会があるのはとても貴重だと思います。

プログラムの内容や当日の進行についてお聞かせください。

前回同様、自己紹介のスライドを皆さんに用意してもらい、当日全員の前で話す機会を設けました。研究の話

を淡々とするのではなく、趣向を凝らしたスライドが多く、お互いを知る上でとても有用でした。今回から導入されたポスター発表も好評で、ポスター前での議論も盛んになされていました。特に、学会発表を経験したことがない学生も発表にチャレンジしていたのがとても印象的でした。発表したことにより、たくさんのアドバイスをもらえるなど、貴重な経験になったことと思います。

プログラムについては、今回ホストだった上野研の方々の対応がしっかりしていたおかげで、ほぼ予定通りスムーズに進行ができました。実験室の案内では質問が多すぎて時間が押す場面もありましたが…。また、上野さんの配慮で皆さんに名札を配っていただいたのもとても良かったと思います。



↑ 口頭発表の様子

ポスター発表の様子→



参加者集合写真

対面でのメリットを感じた点はありますか？

今回、このような会をを現地開催にして本当に良かったと思っています。オンラインでは多くの場合、話し手に注目が集まるため、学生さんは「知りたい!」という気持ちが強くて、聞きたいことを聞けなくなってしまうことが多いとよく聞きます。対面のポスター発表を行うことで、自然な会話の中で些細なことも聞けるというのは研究を進める上でとても大切なことだと思います。今回はそういった会話がとても多かった印象です。

もう一つ重要なこととしては、とても「笑い」が多い会になったと思います。オンラインで行う場合には、聞き手がマナーを守ってミュートにしていると、聴衆の笑い声は聞こえません。聴衆の反応がわかることで、発表者も安心して話すことができたと思います。皆さんが自然に話せたことで、発表者の「キャラ」もよくわかりました。

次回開催に向けて改善点を挙げるとすれば？

今回、多数の学生さんにご参加いただきましたが、特定の研究室からの参加が多かったので、研究室のバリエーションを増やしていくことが次の課題だと感じました。参加・発表しても成果にはならない会ですので、先生方もなかなか学生の参加に対し、積極的になりづらいかと思います。今後若手交流会で知り合った方同士で研究を行い、目に見える形で成果につながっていくと、参加への障壁も下がり、若手交流会がより良いものになっていくのではないかと思います。

若手の皆さんへメッセージをお願いします。

若手交流会は普段参加する学会とは異なるコミュニティに属する同年代の人たちに出会える機会です。研究がうまくいっている人はもちろん、何か困っている・悩みがある人も勇気を出して来ていただくと、解決の糸口が見つかるかもしれません。是非来年の参加を検討ください!



交流会当日の様子

参加した学生さんからのコメント

「自分の研究のどのような点が面白いのか、どのような点で苦労しているのかなど、学会とは異なったフランクな雰囲気です。また、様々な分野の学生や先生方と交流することができ、自分の視野を広げる良い機会となったと感じています。」

小子内 行羅(九州大学、修士課程1年)

「私はこの分野への取り組みがまだ浅いため、知識や人脈が限られていましたが、他大学の学生とポスターを通じたディスカッションに参加することで、新たな発見や洞察を得ることができ、さらに交流を深める貴重な機会をいただいたと嬉しく感じています。」

矢藤 千菜(北海道大学、修士課程1年)

お知らせ

- ・12月26、27日に名古屋大学 研究所共同館 II にて第6回領域会議を開催します。
- ・2024年1月11、12日に金沢商工会議所にてJAIST国際シンポジウムを共催で開催します。
- ・2024年1月19日に九州大学グローバルイノベーションセンターにて第3回産学官協働ミーティングを開催します。



Interviewee



荒井 俊人

物質材料研究機構
独立研究者・主任研究員

(広報担当)

イラスト: 門田 英子

領域ホームページ <https://25d-materials.jp>

(ニュースレター公開日: 2023年 11月9日)